

## 当社の本社社屋が「北九州市 都市景観賞」を受賞

当社の本社社屋は、アントニン・レーモンド建築設計事務所の設計により、1954年(昭和29年)に完成、現在に至っています。

2004年(平成16年)、バイパス工事に伴い事務所部分の大半は解体されましたが、玄関と応接室、講堂は、補修を施しながら極力当時のまま保存活用しています。

このたび社屋の建築的・景観的価値を理解し、残された建物を保全、活用し続ける姿勢が評価され、「第5回 北九州市都市景観賞(建築物部門)」を受賞いたしました。

「北九州市都市景観賞」は、個性的で魅力的な都市景観の向上に寄与した建築物などを表彰するもので候補は広く市民の方から募集し、選考委員会による審査、市民投票を経て決定されます。今回は62件の候補の中から、審査の結果、当社も含め8件が選ばれました。



■お問合せ先: 人事総務部 TEL 093-645-8810 FAX 093-631-8837

## 陸上部NEWS

詳細情報は <http://www.yaskawa.co.jp/activities/track-field/index.html> で公開しています。

「13分台」。春のトラックシーズンはこの言葉に象徴される結果となりました。

4月～6月までの3か月間、当社陸上部の選手は地元福岡を中心に延岡市や兵庫県、広島県の大会に出場し、5000mを主体としたスピード強化を行いました。特に目を見張るのが、入社2年目の平野護選手、同じく2年目で19歳の種子野輝夫選手、そして新人の中野平選手の3名です。種子野選手は春季延岡記録会で5000mに出場し、10名以上がハイペースで進むレースに喰らいつき9位ながらも13分台(自己新)を記録しました。19歳でジュニア資格を持ちながらも、シニアのレースに積極的に出場して走力を高めている最中です。

冬場、クロスカントリーで走りに柔軟性を加えた平野選手も、多くのレースで積極性を披露。ラスト勝負に持ち込む場面が増え、鞘ヶ谷記録会でついに13分台(自己新)を記録しました。そして新人の中野選手は社会人になって既に3レースを終えましたが、常にラスト勝負に絡み、2勝しています。鞘ヶ谷記録会で前述の平野選手と激しいラスト勝負を演じ、13分台(自己新)の1位でフィニッシュしました。

これまでも下森、岡田、飛松、小畑、北島選手が「速い選手の目安」となる13分台の記録を有しており、8名もの13分台の選手が在籍するチームに成長しました。このようなチームは国内で数えるほどしかありません。この選手達が持てる力を90%以上コンスタントに発揮できるようになれば、きっと皆様のご期待に沿うことができる「強いチーム」になれると思います。

このためにも、この夏場の走り込みを充実させ、秋冬のシーズンに備えていきます。今後も当社陸上部への応援をよろしくお願いいたします。



このトラックシーズン、5000mで13分台の自己新を記録した平野選手(左)、中野選手(中)、種子野選手(右)

監督の声: .....

若手選手の成長により更にチームの総合力を高めることができたいと思います。今年こそ九州No.1の座を奪い、ニューイヤー駅伝に弾みをつけたいと考えています。

監督 山頭 直樹

### ◆2009年4月～2009年6月の主な戦績

日程	大会名	実績
4月 25日	春季延岡記録会	種子野選手(5000m 自己新: 13分台)。
5月 3日	延岡記録会	平野、久保田選手(10000m 自己新)。
5月 4日	福岡県選手権	後藤選手(5000m 自己新)。
5月 16-17日	九州実業団陸上	中野選手(10000m 自己新)。
5月 30日	ゴールデンゲームズinのべおか	平野、中野選手(5000m 自己新)。
6月 6日	鞘ヶ谷記録会	中野、平野選手(5000m 自己新: 13分台)。
6月 28日	日本選手権	小畑選手(10000m 20位)。